

令和6年度 第1回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月19日（金）9時～11時30分まで
- 2 開催場所 大平台小学校 会議室
- 3 出席委員 井嶋 吉廣、斉藤 良夫、内藤 明子、シム キュマン、今井 孝
稲葉 大輔、山内あけみ、幅 あけみ、田中 基生、伊藤 真弓
- 4 オブザーバー 徳増 宏之（入野協働センター館長）
- 5 学校支援コーディネーター 荻 哲也、今明 真理、伊藤 真弓
- 6 学 校 戸嶋 秀樹（校長）、大澤真一郎（教頭）、竹内 由里子（教務主任）
尾白 栄子（CSディレクター）
- 7 傍聴人 山田 高博
- 8 会議録作成者 CSディレクター 尾白 栄子

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員から意見を求めたところ、田中委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された田中委員からシム委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内藤委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

11 協議事項

(1) 令和6年度学校運営の基本方針について（いじめ防止基本方針を含む）

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

- ・屋上庭園
- ・放課後学習ボランティア
- ・生活ボランティア

(3) その他、意見交換

12 会議記録

(1) 令和6年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員から、以下の意見があった。

・今、子供のしたいこと、その時、学校ではいけないことが低学年だと想像できないように思う。 (シム委員)

・子供にとって安全を脅かすことのないように対応が求められる。 (今井委員)

・こういうことをすると相手が嫌な思いをする、今ではいけないことがある、といったことに気付く力を高めたい。担任一人でクラス全員の対応することに学校としても苦慮している。

(戸嶋校長)

・交通安全面で子供の意識、保護者の意識も変わりつつあり、「怒られなければいい」という風潮もある。大人になればわかることかもしれないが、子供ではわからないことがたくさんあり、小学校の先生のご指導に託したい。 (幅委員)

・価値観、宗教、道徳心は、人それぞれでお互いを認め合うにはどこを基準として判断するか難しいと思う。子供たちには自分でやってみて、体験してほしい。自分自身で体験しないとけがをすることや危険なことが分からないと思う。(田中委員)

・自分が嫌ではないことだけど、相手にとっては嫌なこともあるということが分かるようになってほしい。自己中心的な考えからいろいろなことやいろいろなもの、いろいろな考え方や見方を知り、人を知る経験がその子を育てると思う。(伊藤委員)

・文房具の使用などの学校のルールを理解できない子供に、どうしてそのルールがあるのかをしっかりと納得させることに、低学年では難しさがある。また、外国人と日本人との間の距離を縮めることが子供のうちからできるといいと思う。(シム委員)

・親と先生に気持ちの余裕があれば、子供の様子をしっかりと見られると思う。1人の先生が35人の生徒を受け持つのは余裕が持てないのではないか。(田中委員)

・理想を掲げても、背景が整っていないときめ細かに目を届けることは難しい。(戸嶋校長)

・1クラスの人数を減らすとなると1人当たりいくら必要となるか、限られた予算の中でやらざるをえないのが現状ではないか。(今井委員)

・1年生の給食のボランティアなど先生が余裕の持てるような活動をCSで取り組みたい。否定されることよりも共感や認められることが子供にとって大切と感じる。先生がすべてを受け入れる余裕を持てるようになれば、子供同士も同じようになると思う。(田中委員)

・個性の強い子供が増加傾向にある。少子化で子供の数は減っているのに特徴のある子供が多くなり、すべてに手が回らない現状がある。(今井委員)

(2) ○屋上庭園について

・荻コーディネーターを中心に環境美化委員会の子供に加え、PTAの保護者も関わりを持ち、進めている。(戸嶋校長)

・入野地区の他校の例もあるので、畑づくりに精通した地域の方に声をかけていくとよいだろう。(内藤委員)

○放課後学習ボランティアについて

・ボランティアの登録が13名あり、毎月、火木金でボランティアに来られる人の出欠確認をしている。3年間ボランティアをしてきて、本読みや宿題と基礎的なことを確実に定着させた思いで取り組んでいる。発足当時は、本読みなど外国籍の保護者の代わりにできることから始まり、これからそれぞれの学年の基礎の定着、宿題+αとどうかかわっていくかを先生方とボランティアと話し合っ進めたい。(今明コーディネーター)

・漢字の書き取りなど時間を決めて取り組むよう心がけることに効果を感じている。外国籍の保護者の中には、勉強はしなくてもいいと子供に言ってしまう保護者もいる。親の教育にも必要性を感じる。(シム委員)

・生活環境を整えることが学習支援につながる。生活のサポートが追い付いていない。生活の困りごとを発見してどう解決するかが最終的に学習へとつながる。そういったことを共有していきたい。(稲葉委員)

○生活ボランティアについて

・給食の配膳補助を給食開始から6日間、1日に5、6名で延べ15名がボランティアとして参加した。今後も先生方と相談しながら続けたい。(今明コーディネーター)

・昨年度末の募集開始を、来年度は早い段階で広く募集をして地域の方の参加を促したい。ボランティア期間を6日間から長い期間にするかも合わせて検討したい。(内藤委員)

(3) その他、意見交換

・1クラスの人数を減らしたい要望があり、忌憚ない意見を聞きたい。(内藤委員)

・クラス定員を減らすのか、先生を増やすのか、教育委員会へ意見を伝えたい。浜松市では35名1クラスとなっているが、教室の大きさからしても、子供たちにとって窮屈に感じると思う。(田中委員)

・CSも4年目となり、学校の経営方針にチーム大平台としての職員の方針も書いてほしい。先生方と地域の共有を意識することで、より具体的に目先が合わせられる。(稲葉委員)

・1人1台の端末学習が始まり、常にWi-Fiがつながっている環境になっている。端末を使わないときは、コンセントを抜く対策をしてほしい。電磁波や高周波は、子供の脳に影響を与え、気性の荒い子供が増えている。イライラ、歯ぎしり、片頭痛といった影響もでている。(田中委員)

・クラブ活動については4～6年の異学年交流を目標として活動している。そのため地域人材をどのように活用していくべきかを6月に話し合いたい。(戸嶋校長)

・協働センターでは、6月から始まるペン習字やお茶の活動を、小学校に募集のかける予定をしている。(徳増オブザーバー)

13 連絡事項

(1) 次回議長の選出について

司会から次回の議長に今井委員を推挙する旨の発言があり。全員意義なくこれを承認した。

今後の日程(予定)

第2回	学校運営協議会	6月12日(水)	13:30~15:00
第3回	学校運営協議会	7月24日(水)	9:00~11:00
第4回	学校運営協議会	12月16日(月)	10:00~12:00
第5回	学校運営協議会	2月6日(木)	10:00~12:00